

<ご参考資料>

報道関係者各位

2014年3月7日

株式会社 博報堂

**博報堂、先進的アイデアを開発し、広告の未来を拓く業務を提案する**

**自主開発型クリエイティブ・ラボ「スタラボ」を発足**



**スタラボ™**

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、デジタル領域・ダイレクト領域などに強みを持つ社内クリエイターが中心となり、次世代型クリエイティブを開発する社内横断プロジェクト「スタラボ」を発足し、3月7日より本格的に始動いたします。

近年、広告コミュニケーションにおいて、マス領域とデジタル領域を組み合わせたソリューションが強く求められています。

「スタラボ」は、博報堂のクリエイターが持つ発想力等のスキルと、これまで培ってきた社内外のネットワークを活かし、先進的なアイデアを形にする自主開発業務を中心に行い、開発した案件を様々な企業・社会に提案していく、という新しい形を模索します。

リーダーは、博報堂のクリエイティブディレクターで「使ってもらえる広告」（アスキー出版）の著者でもある須田和博が務め、「三陸に仕事を！プロジェクト 浜のミサンガ『環（たまき）』」などの業務で仙台クリエイター・オブ・ザ・イヤー（2011年）を受賞した鷹嘴愛郎もメンバーに加わります。

「スタラボ」のメンバーは、「生活者のインサイトを察して、ウケるアイデアを創る能力」「そのアイデアを伝わりやすい、魅力的なことばにする能力」「複雑な事象や構造を、パッと一瞬でわ

かる見た目にする能力」を持ち合わせたクリエイター7名。

これら7名のメンバーを中心に、様々な領域に強みをもつ社内クリエイターからも参加を募り、新しいソリューションを創出し、これからの広告事業領域を拡大していくことを目指します。既に、試作品1号として青森県田舎館村の観光事業を支援する取り組み「ネイチャー・バーコード」を制作（以下参照）しています。

## ◆スタラボ 試作品（プロトタイプ）1号とともにみる開発フロー

商品名：ネイチャー・バーコード

広告主：青森県 田舎館村

概要：日本の農業を復活させるスマートフォンアプリを開発

デジタルテクノロジーと農業との融合にトライ。田んぼに描かれた広大な絵「田んぼアート」をスマートフォンの専用アプリのカメラでかざすと、その中から特異点を認識しお米を購入できる EC サイトへ移動。訪れた人は旅の思い出を残しながら同時にお土産を買うことができる。



### アイデア開発

スタラボのメンバーで「こんな広告があったらいい」をプレス。観光地でお土産を買っても、重い荷物を持たずに手ぶらで帰ってきたい」＝バーチャルお土産。「田舎の農道で見る、無人販売所のような E コマースがあったらいいのに」＝産直オンライン。そんなアイデアがいくつか合体して、「ネイチャー・バーコード」が誕生しました。



fig 1. バーチャルおみやげ



fig 2. 産直オンライン



### 試作品

画像認証の技術をベースにオリジナルのアプリを開発。美しい農風景をその場でフォト・スキャンすると、販売サイトへダイレクトに繋がり、農作物が購入できるサービスです。スタラボでは、農業・観光などの地域自治体の中で、試験的な導入に賛同してくれるパートナーを探しました。



fig 3. 画像認証アプリ



### 実証実験

さまざまな色の稲を使って田んぼに絵を描く「田んぼアート」を実施していた青森県田舎館村と、2013年8月より実証実験を開始。田んぼをアプリで読み取ると、田舎館村のお米が買える販売サイトへ誘致する仕組みを構築しました。



fig 4. 青森県・田舎館村で実証実験



## 商品化

2014年1月、田舎館村「田んぼアート」の公式ポスターに「ネイチャー・バーコード」の情報を掲載。実風景からだけでなく、ポスター・SNSなどでシェアされる写真からも画像認証できる仕組みにしました。世界初のお米が買えるポスターとして全国各地の物産展はじめ様々なところで活用されます。



●ネイチャー・バーコード／アプリダウンロード先（スマホでアクセスした場合） <http://nature-barcode.jp/index.html>

### ◆プロジェクト概要

名称：スダラボ

リーダー：須田和博（博報堂 クリエイティブディレクター）

メンバー：鷹嘴愛郎（博報堂 クリエイティブディレクター）

亀谷政晃（博報堂 デジタルクリエイティブキュレーター）

江口貴博（博報堂 インタラクティブプランナー／CMプランナー）

志水雅子（博報堂 インタラクティブプランナー／コピーライター）

中村圭（博報堂 インタラクティブプランナー／コピーライター）

児島啓多（博報堂 インタラクティブプランナー／アートディレクター）

所在地：東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー

URL： <http://suda-lab.jp/>

---

報道関係者様からのお問合せ先：博報堂 広報室 西尾・落合（TEL：03-6441-6161）